



9月9日は救急の日



皆さん、毎年9月9日が『救急の日』
ということをご存知ですか？

今年も、9月9日(日)から9月15日(土)まで『救急医療週間』として、救急業務の普及啓発運動が全国的に行われます。これは、皆さんの救急に関する理解と認識を深めてもらうために設けられているものです。

ちなみに松前消防署では、今年も応急手当講習会などを行って、町内小中学校の先生や保護者の方々、地域住民の皆さんに応急手当を学んでもらいました。その内容は、心肺蘇生法(人工呼吸と胸骨圧迫)やAED(電気ショックの器械)の使い方、また出血や骨折、異物による窒息の時の手当てなどです。

さて、この講習を受講された方にアンケートを行い、その回答を抜粋してみますと、

- ① 人命に関わることなので、一人でも多くの人に参加していただきたいです。
- ② 積極的に応急手当を行えるか自信はないが、この講習で学んだ事を活かせるようにしたいと思います。
- ③ 年齢的にもお互い将来に不安を抱いていましたが、妻と一緒に講習を受けて少し安心感を覚えました。
- ④ AEDの必要性をニュースなどで知っていました。使い方が分からず不安に思っていました。この講習を受け、

自分にもできそうだと分かり安心しました。

など、この他にもたくさんのお意見をもらいました。

また、受講していただいた皆さんに応急手当の必要性を認識していただいたと感じております。

なお松前消防署では、今後もこの講習会をより大勢の方に受講してもらい、お互いが大切な命を助け合える社会にしていきたいと考えていますので、興味を持たれた方はまずお気軽に消防署までご連絡ください。

講習名

・普通救命講習Ⅰ(3時間コース)

・修了証を発行します。

・救命基礎講習(3時間未満コース)

その他

受講料：無料

日時：他の予定がない限り受講者の方に合わせます。

場所：町内ならどこへでもお伺いします。

最低人員：5名程度から

問い合わせ

松前消防署救急係

☎ 9 8 4 - 3 4 0 4

● 女性消防団の「ちょっといい話」 ● <第14回>

A：9月9日は「救急の日」やって。救急車、よう走りよるけど、救急車の中って、何が置いてあるか知ってる??

B：ストレッチャー(担架)・血圧計・酸素ボンベ・吸引器・除細動器なんかを積んどるはずよ。

消防職員：よくご存知ですね(笑)。他に変わった物では、子どもさんを搬送する時に、我々救急隊は結構怖がられて泣かれてしまうことが多いのですが、少しでも落ち着いてもらいたいの、ぬいぐるみも積載しています。

A：救急出動は年間どのくらいなの？

消防職員：年間1200件の出動で1日約3件です。ここ数年出動件数が増加傾向にあります。しかし、そのうちの約60%はその日の内に帰宅できる軽症の方なんです。松前町には1台しかない救急車なので、重症な方に優先して使っていただけるように、可能な場合は自家用車やタクシーなどの利用をお願いしたいですね。

B：松前消防署には救急救命士が5人おるんやと！

A：へえ～。救急救命士ってどんな資格があるん？

消防職員：器具を使用した気道確保や薬剤投与が救急現場や救急車の車内でできます。

A：ところで今話題のAED(自動体外式除細動器)の町内の設置はどうなってるの??

消防職員：今年の6月には町内の小中学校全部に設置しました。その他には役場、伊予高校、福祉センター、松前公園体育館などにも設置しています。

A：実は私、職場の同僚が急病になってね、救急車を呼んで同乗したことがあるんよ。思ったより揺れるんよ、救急車の中って！

消防職員：そうですね。救急車の運転手は、松前町内と主な搬送先病院への道路の凸凹の位置を覚えていて、なるべく振動を少なくするように注意して運転しています。早く病院に連れて行きたい、でも、極力振動を与えたくない、というぎりぎりのところで運行しています。また、車内のストレッチャーには防振機能がついていますので、同乗者が感じるほど、患者さんは振動を感じていないはずですよ。

B：へえー。そんな所まで注意しとるんやねえ。

A：あと、私たちの一般の車も救急車が来たら、基本的には左に寄って停車しなきゃいけないそうよ！患者さんが1分でも1秒でも早く病院に着くように私たちも協力することが必要ね。

B：そうね。これからは救急車が来たら、ちゃんと道を譲ってあげよ～っと。

消防職員：ご協力よろしくお願ひします。